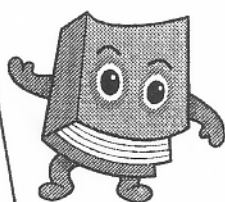


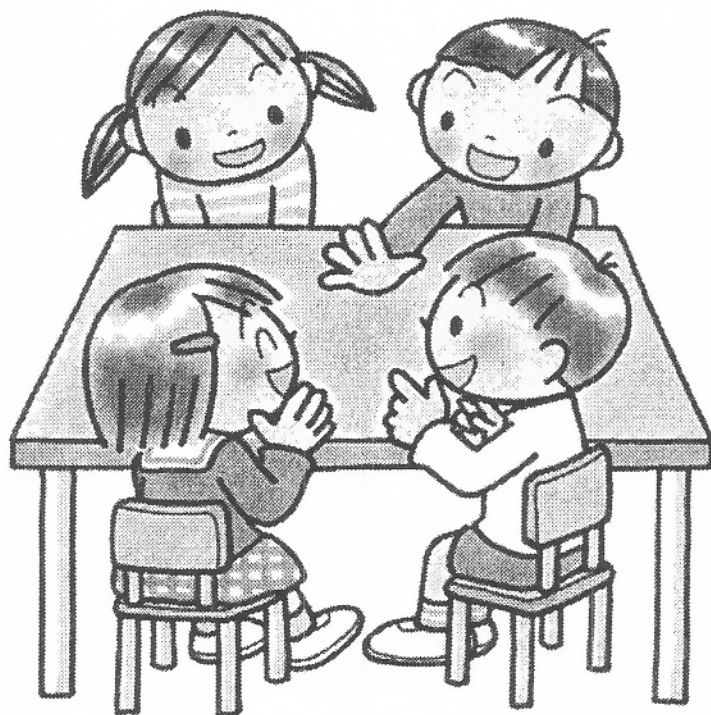
平成21年度
川崎市総合教育センター研究報告会

よりよい
クラスにする！！

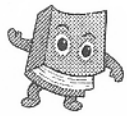


自主的な話し合いに
するためのヒント集

もっと素敵な
自分になる！！



平成22年 2月
特別活動研究会議



その① アンケートを作るべし!

ねらい：児童生徒の実態を把握する・児童生徒が問題に気づくようにする
授業を効果的に組み立てる

問題に対する児童生徒の実態を把握するためにアンケートを作成する。ある程度学級活動の展開を考え、必要と思われる項目も入れる。「理由」を聞くことで、より児童生徒の感じていることをつかむことができる。実態が把握できたら、より具体的・効果的な学級活動の展開を考える。(指導計画を作成する)

「例① 振り返り型」

「学級目標&学級生活 振り返りアンケート」

①A組の学級目標「〇〇〇〇〇〇」の達成率は、何パーセントだと思いますか？

〇〇%

②その理由は？

- ・授業中、騒がしく集中していない。
- ・そうじをやっていない人がいる。
- ・明るくてよいが、グループが固定化している。

①学級でめざしているもの(学級目標、当面の目標など)に対する現状の振り返りから入る。

②理由から問題を扱いたいものにしぼる。

「例② 前向き方」

「合唱コンクールアンケート」

①合唱コンは楽しみですか？

とても	まあまあ
あまり	全く

②その理由は？

③どんな合唱コンにしたいですか？

④そのためにどんなことが必要と考えますか？思いつくだけ、具体的に。

①多くの生徒が「とても」と答えることが予想される。結果をグラフで表すと効果的。「あまり」「まったく」と答えた生徒の「理由」は話合いで考える視点にするとよい。

②一人一人の思いを言葉にさせる。これをまとめることで、みんなの思いが共有され、合唱コンクールに向かう気持ちが一気に盛り上がる。

③自分の思い描く合唱コンにするために必要だと思うことを具体的に考えさせる。これが、話合いに臨むときの個人の考えにもなる。



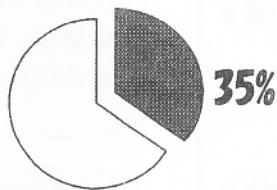
その② 資料を作るべし！

ねらい：児童生徒の問題意識を高め、問題の共有化を図る
話し合いへの意欲を高める

アンケートの結果をグラフや表などにまとめ、資料を作る。本時導入または事前の活動で提示し、児童生徒の課題意識を高めたり、問題を焦点化したり、問題の共有化を図るために用いる。

「例① 振り返り型」

学級目標達成率は
どのくらい？



①学級目標の達成率の低さを全員で確認し、一人一人が問題意識を高めるようにする。

②理由から問題を「授業態度」に焦点化し、共有できるようにする。
(※具体的な現状については、グループの話し合いで出し合ってもよい。)

その理由は…？

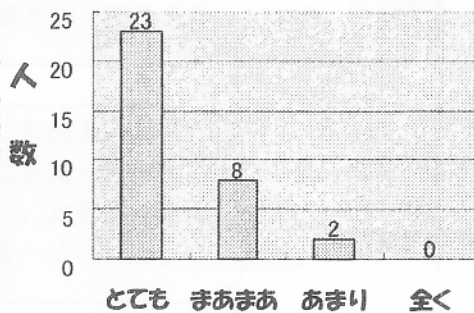
授業態度

- ・授業中、騒がしく集中していない。(9)
- ・うるさい。(11)
- ・チャイム着席ができていない。(6)
- ・けじめがない(7)
- ・自分勝手に話す人がいる。(4)

「例② 前向き型」

①ほとんどの生徒が合唱コンクールを楽しみにしていることがわかる。合唱コンの取り組みに対する「構え」ができる。

合唱コンは楽しみですか？



その理由は…？

<とても>

- ・最後の合唱コンだから
- ・三回目こそはよい結果を残したい
- ・クラスが一つになってやる最後の行事だから
- ・みんなで合唱するのは楽しいから

<まあまあ>

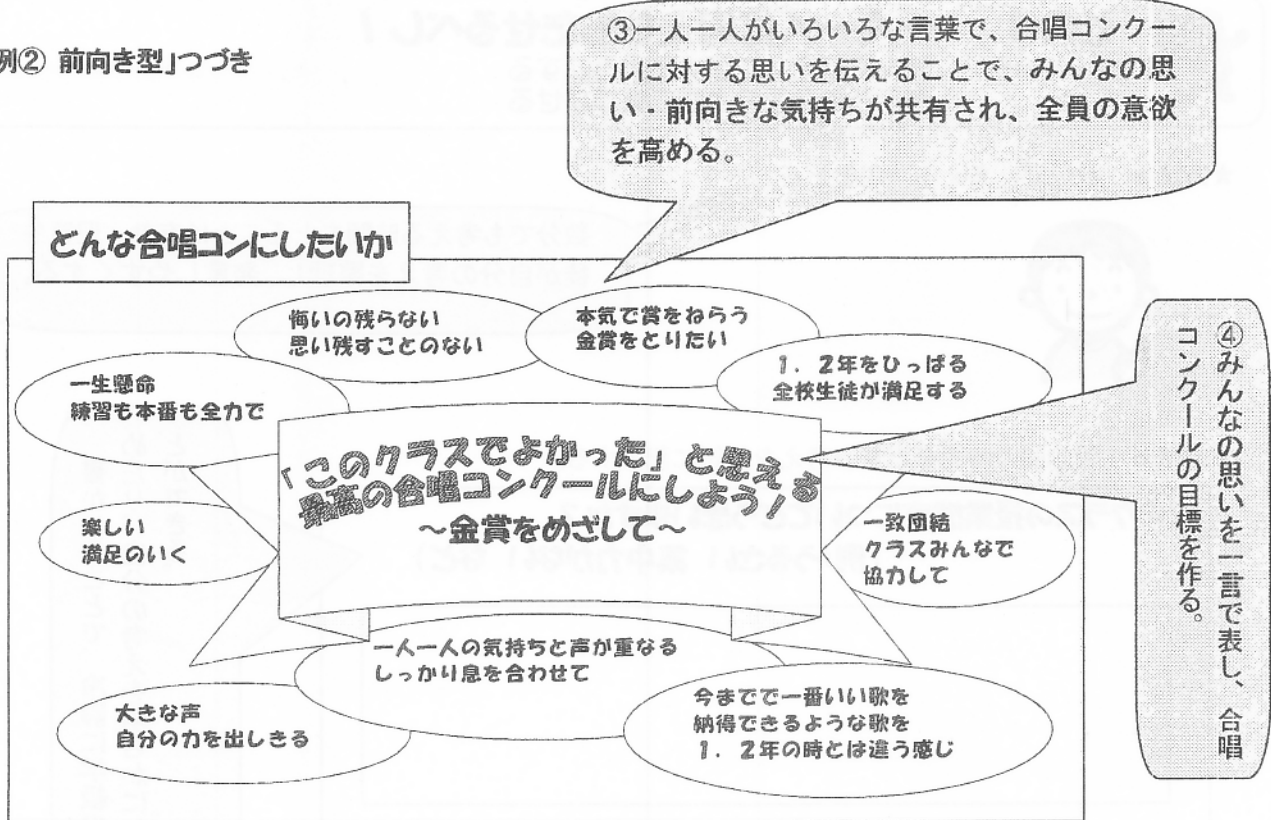
- ・歌うのは嫌いじゃないから
- ・賞がねえそうだと楽しみが増すと思う

<あまり>

- ・歌が得意ではないから

②多くの生徒が学級で一丸となって取り組むことを望んでいるという前向きな気持ちが共有される。「歌が得意ではない」生徒に対して、学級でどのように関わっていくのかということも話し合いの中で考えさせたい。

「例② 前向き型」つづき



金賞をとるクラスの練習では、どんな姿(条件)が見られるか

金賞をとるクラスの練習に見られる3つの条件とは？

ルール・約束	が守られている
工夫した	練習をしている
みんなが思いやり	をもって行動している

⑤目標達成に向けて、どのような行動をとればよいのか(とるべきなのか) 考えるための条件(要素)を全員で考え、確認する。



その③ 一人一人に考えをもたせるべし！

ねらい：進んで話合いに臨めるようにする
友だちの発言のよさに気づかせる

★方法a 数分間、考える時間をとる。



数分でも考える時間をとることは有効。児童生徒が自分の考えを整理し、発言しやすくする。

★方法b 数分間の時間を取り、考えを用紙に記入する。

このクラスの授業態度についてどう思いますか？
(例：うるさい 集中力が低い など)

書かせることで、冷静に学級の実態を見つめたり、自分の考えを明らかにしたりすることができるとができる。

★方法c 事前に考える時間を取り、用紙に記入しておく。

「素敵な6年生になろう！！」プロジェクト その1

グループ みんなで 協力して	時間以内に 手際よく	時間 いっぱい はたらい	すみずみまで びかびかに	自分も みんなも 気持ちのよい	下宿生の お手本に なる
----------------------	---------------	--------------------	-----------------	-----------------------	--------------------

おそうじアイデア メモ

5年3組

①分担

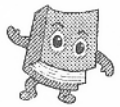
②手順

⇒ ⇒ ⇒ ⇒

③早く終わったらどうするか

④その他 (工夫・気をつけること・みんなで大事にすること など)

グループ(全体)で話し合うことと同じ項目について考えをもてるようにメモ用紙を作っておく。(全て記入する必要はなく、アイデアのあるものを中心に記入するようにする)
発言が苦手な児童も安心して話合いに臨むことができる。
いろいろなアイデアが集まり、グループ(全体)の話合いが充実する。



その④ グループの話し合いを進めるリーダーを指導するべし！

ねらい：「自分たちで話し合っ取り組む」という意識・意欲・責任感を高める
グループの話し合いを円滑・活発にし、充実させる

教師だけが学級活動の内容や話し合いの進め方を分かっているのではなく、リーダーたちと一緒に「このク
ラスをよりよくするための作戦会議」をもつことが大事である。以下のような手立てをとる。

★手立て①…リーダーを各グループに1、2名おく。

- ・二人いると、相談できてよい。
- ・進行役、記録役と分担させてもよい。

相談は、グループのみんなに聞こえるよう
にさせる。グループの座席の配置、リーダ
ーの座る位置も指導する。（P8参照）

★手立て②…リーダーたちと一番話し合いたいこと
（話し合いの柱）を考え、決める。

リーダーと教師と一緒に考えることで、
リーダーの意欲や責任感を高める。まずは、
リーダーの意欲を高めることが大切！！

★手立て③…話し合いの進行の仕方を確認する。

- ・何について（話し合いの柱をおさえる）

<グループで話し合うこと>

1 役割分担

- ・何（どこ）を何人でやるか
- ・交代のタイミング

毎日

一週間に一回

変わらない（やることがみんな同じ場合）

※札を動かすのはだれにする？

「そうじの仕方について」
話し合いの進め方
ヒントカード

2 手順（→ その場所の絵を描いておくといいい）

- ・何から始めて、どんなことをやって、何で終わるか
- （・どこから始めて、どういう風に進んで、どこで終わるか）

3 早く終わったら、どんなことをしたらいいか。

4 その他

工夫

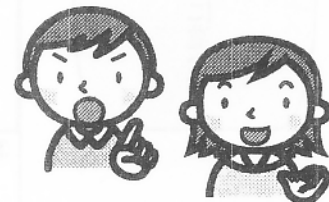
気をつけること

みんなで大事にすること など

グループみんなで協力して
時間以内に手際よく
時間いっぱい一生けん命に
すみずみまでびかびかにする
自分もみんなも気持ちのよい
下宿生のお手本になる
そうじするための

リーダーの実態や話し合う内
容などに合わせて進行の仕方の
指導をする。話し合いに慣れてい
る場合や話し合う内容がわかりや
すい場合は口頭で確認するだけ
でもOK！

話し合う内容が多岐にわたる
場合は、話し合うことやその順
番、話し合う視点などを記した
「話し合いの進め方ヒントカー
ド」を作成して指導する。



・どのように（話し合いの方法を指導する）

- 方法 a 順番に考えを出していき、検討する。
- 方法 b 考えのある人から意見を出し、考えの近い人がつけたしていき、検討する。
- 方法 c 付箋を使って考えの似ているものごとにまとめ、検討する。
- 方法 d アイデアの考えついた人からとにかく発言していく。否定はせず、考えつくだけ出し合った後に検討する。

話し合いの進め方をリーダーと一緒に
考えるのも効果的である。リーダ
ーの実態に合わせて、実際に練習し
てもよい。ある程度、話し合いの流
れを予想させておくと、リーダーにと
っては見通しがもててよい。

★手立て④…いろいろな考えを引き出す方法を教える。

- ・自分の考えを言うようにする。
- ・考えをもつ時間（相談も可）をとる。（P6参照）
- ・指名していろいろな人の発言を聞く。
- ・重要な意見、わかりにくい意見などは確認したり聞き返したりして、全員が理解できるようにする。

★手立て⑤…出た意見のまとめ方を指導しておく。

1 班

ねんさんがいる⇒先生にしつれい。
うるさい⇒集中できない 頭に入らない。
ちゃかしてる人がいる⇒クラスが団結していない。
2度注意される⇒反省していない。
休み時間の雰囲気⇒きりかえができていない。

グループの話合いを全体での話合いに有効に生かすために重要な手立てである。まとめ方でつまづき、話合いが進まなくなってしまうことがあるので、しっかりと指導しておく。

まとめ方 a 画用紙などにペンで記入する。キーワードを矢印などで簡潔に表す。

まとめ方 b 記録用紙を作っておく。
話し合うことが明確になり、話合いがそれずに進む。話し合った後も、掲示物として使用できる。

清掃活動カード

そうじ場所 _____ (_____ 班)

やる物(所)					
① 分担	メンバー				
② 手順	絵・メモ等				
		⇒	⇒	⇒	⇒
③早く終わったらどうするか					
④その他(工夫・気をつけること・みんなで大事にすること など)					

★手立て⑥…発表の仕方を指導しておく。

- ・発表時間の目安を伝える。(例：1分)
- ・発表者を決めておく。

グループの話合いを全体での話合いに有効に生かすために重要。短時間で大事なことを落とさずに発表させる。記録者に発表を頼むと話合いをまとめながら心づもりができる。



その⑤ グループによる話し合いを活用するべし！

ねらい：意見を出しやすくする・話し合いへの参加率をあげる
考えに自信をもたせ、全体での話し合いで発言しやすくする

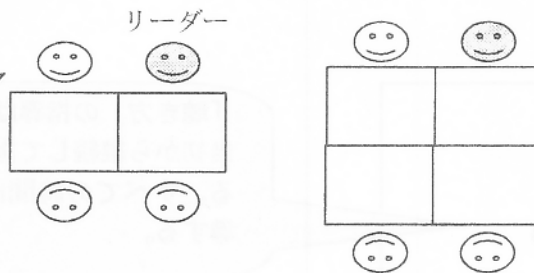
グループの人数、座席の配置、リーダーの位置、話し合う内容、一人一人に考えをもたせる手立て（P6参照）話し合いの進め方（P7参照）話し合ったことのまとめ方と発表の仕方（P7参照 全体で話し合い、確認・共有するために必要）についても考える。

児童生徒が話し合いに慣れていない場合・深刻な内容について話し合う場合には、4人程度で話し合う方が意見が出しやすい。

「例① 振り返り型」

- ・グループの人数 4人
- ・話し合う内容 「このクラスの授業態度のよくない現状をどう思うか」
- ・一人一人に考えをもたせる手立て グループになる前に用紙に記入
- ・座席の配置・リーダーの位置

前列の2人が椅子の向きを変えるだけ。お手軽4人グループ作り。

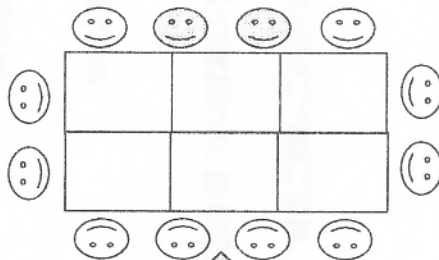


現状に対する正直な気持ちを出し合うことで、「分かってはいるけどやめられない」ことをやめ、「悪いことは悪い」と注意し合える規範を作るきっかけになる。

「例② 前向き型」

- ・グループの人数 12、3人
- ・話し合う内容 「金賞をとるクラスの練習ではどんなルール・約束が守られているか」
「
//
思いやりの姿が見られるか」
「金賞をとるクラスでは、練習にどんな工夫が見られるか」
- ・一人一人に考えをもたせる手立て 考える時間を1分間とる。
- ・座席の配置・リーダーの位置

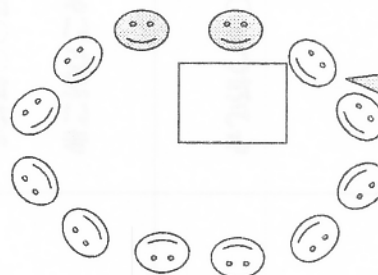
児童生徒が話し合いに慣れている場合・全員が意欲的に話し合いに臨める内容である場合には12、3人でもOK。



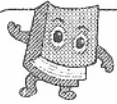
リーダーの声が全員に聞こえるよう中央に座るようになる。（リーダーが進行の仕方等相談している内容も聞こえる方がよい。）

集団思考（具体的な行動の仕方について話し合う）の場面。

目標（めざす姿：「このクラスでよかったと思える最高の合唱コンクールにしよう」～金賞をめざして～）が達成される具体的な姿を出し合うことで、そのような行動をとることが約束のようにクラスに浸透する。



記録役のみ、机を使う。その他の生徒は椅子のみを使い円形に集まる。



その⑥ 学級全体に話合いのルール ・発言の仕方を指導しておくべし!

ねらい：話しやすく、聞きやすい雰囲気をつくる

常に、学級全体に指導しておく内容である。教室に「話合いの約束」や話型などを掲示し、確認できるようにしておく。

<発言するとき>

- ①手を挙げよう。
- ②ていねいな言葉づかいをしよう。
- ③声の大きさを考えよう。

グループで話し合う時と全体で話し合う時では、声の大きさを変えることの大切さを教える。

<聴くとき>

- ① 発言者に注目しよう。
- ② 話は最後まで聞こう。
- ③ 内容を考えながら聞こう

「聴き方」の指導は、徹底して行う。年度当初から継続して指導することが大切である。すべての時間において、一貫して指導する。

基本的な話型を提示し、教える。話し合っているうちに、よい話し方が出たときには、書き込んで増やしていけるようにするとよい。

よい話し方

はい。○○です
はい。○○だと思います。

賛成

◇◇(さんの考え)に賛成です。理由は○○だからです。
◇◇(さんの考え)がよいと思います。なぜなら、○○だからです。

反対

◇◇(さんの考え)に反対です。理由は○○だからです。
◇◇(さんの考え)と違って○○がよいと思います。なぜなら、○○だからです

付け足し

◇◇(さんの考え)に付け足して、○○をした方がよいと思います。

質問

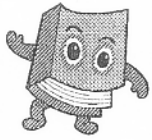
◇◇(さんの考え)に質問です。○○ですか？

聞かえなかったとき

聞かえなかったら、もう一度言ってもらえませんか。

自分の経験を入れて

◇◇の時に○○だったから、○○だった方がよいと思います。



その① 話し合い中は、教師の出番を見定めるべし！

ねらい：最小限でかつ十分な指導を行うことで、児童生徒が自主的に話し合えるようにする。
児童生徒に責任をもった話し合いをさせる。

事前から話し合いに至るまでの細かな指導をていねいに行うことで、話し合いの場面の教師の出番をぐっと少なくすることができる。児童生徒に責任をもって自主的に話し合わせるができる。ただし、学級会で扱うような自治的な活動の範囲の話し合いとは違うので、指導すべき内容は、しっかりと指導することが重要である。また、児童生徒の実態や内容によっては、教師が話し合いを進めることもある。

<教師の支援・声かけの例>

発言者に対して

すべての発言や発言する姿勢のよさを認める

- ・「なるほど。～ですね。」
- ・「一番に発言してくれましたね。素晴らしい。」
- ・笑顔で（真剣な表情で）うなずく。

納得・感心の声かけをする

話し合いに臨む姿勢、意欲を認める

態度で受容していることを伝える

発言内容を価値づける

- ・「今、〇〇と言ってくれたことに気づきましたか？」
- ・「〇〇さんの～というところがポイントです。」

視点のよさをクローズアップする

発言の内容が伝わらなかったとき

- ・「〇〇さんは、～のことを言ってくれたんですね。」

発言の趣旨を補う

聞いている児童生徒に対して

聞き方の指導

- ・「ちょっと待って。発表している人の方をしっかりと向きましょう。」
- ・「ちょっと待って。みんなに『聞いてください。』と言って、しっかりと聞いてもらいましょう。」
- ・『『いいなあ』と思ったら、拍手をするのもいいですね。』

発言を止めて、“聞き方”を指導する

発言を止めて、“聞かせ方”を指導すると同時に聞くことを促す

反応しながら聞くことの大切さを伝える

発言を促す・発言の苦手な児童生徒へのアドバイス

- ・「感想でもいいですよ。」
- ・「この約束を本当に守ってやっていきたいとか、これなら力になれるとさだかありませんか。」
- ・『『〇〇さんと同じで～がいいと思います』と言えるのも立派な発言です。』

発言する内容のハードルを下げる

例を挙げる

みんなの前で発言することに慣れさせる

リーダーに対して

話し合いを進めるリーダーへの指示

- ・「相談タイム（考える時間）をとったら？」
- ・「いろいろな人の考えを聞いてごらん。」

意見が出にくいとき、考える時間をとるようにする

指名をさせ、発言を促す

リーダーに変わって進行

- ・「みんなの考えを整理するとAとBということだね。」

発言を整理したりまとめたりする

個別に支援が必要な児童生徒に対して

個別に声かけをする

- ・「～についてはどうしたらいいと思う？」

考えを聞き出す



学級活動指導案の形式

(第○学年○組) 学級活動指導案

指導者 ○○○○

1. 日時・場所 平成○年○月○日 (○) ○時○分～ ○年○組教室

学級活動(1).....

2. 議題名 「○○○○○」

3. 議題について

4. 評価規準

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)

(2) 本時の活動

①ねらい

②活動計画

児童の活動	評価(☆)と支援(○)

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)

学級活動(2).....

2. 題材名 「○○○○○」

3. 題材について

4. 評価規準

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)	資料

(2) 本時の活動

①ねらい

②展開

	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導入			
展開			
終末			

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)	資料

学級活動（1）学級活動の指導案の書き方

（第〇学年〇組）学級活動指導案

指導者 ○○○○

1. 日時・場所 平成〇年〇月〇日（〇）〇時〇分～ 〇年〇組教室

2. 議題名 「○○○○○」

- ・議題表記にあたっては、各学校で作成している年間指導計画の議題例を参考にしてください。
- ・文末はほとんど「〇〇しよう」という表記になります。

3. 議題について

- ・児童観（子ども観）、議題観、指導観（ねらい）の3つの観点を複合させて記述するのが一般的です。なお、観点をより焦点化するため3つを独立させる記述もあります。
- ・可能な範囲で、学級活動に関する児童の実態についての記載をお願いします。

4. 評価規準

活動への関心・意欲、問題の気付き	集団の一員としての思考・判断	自主的・実践的な活動・態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学級内の諸問題について気付いたり、関心を持ったりして、進んで解決を図ろうとしている。 ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理など、学級や学校の生活の充実と向上を目指し、友だちと協力して意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員としての自己の役割を自覚し、友だちと協力しながら、学級や学校生活上の諸問題などの解決の仕方、学級や学校生活の充実と向上の図り方について考え、判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いや係、集会などの活動で自己の考えを表現し、他の児童の考えも生かしながら、進んで問題の解決を図ったり、役割を分担して活動したりする。

5. 活動の実際

（1）事前の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）

- ・計画委員の活動と学級全員の活動のどちらも記述していきます。
- ・計画委員は、輪番制にしてクラスのどの子にも経験できるようにすることが望ましいとされています。

- ・本時（話合い活動）のみに終始することなく、事前の活動から計画委員と学級全員について行うようにします。
- ・評価については、各学校で作成の評価規準や学習指導評価の資料（H15年教育委員会発行）をもとに記述します。同じような議題でも、学年、あるいは学級の実態に応じて表現は異なってきます。

(2) 本時の活動

①ねらい

②活動計画 (例)

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
1. はじめの言葉 2. 計画委員の紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の説明 5. めあての確認	☆ 計画委員として司会や記録などの役割を果たしている。 (自主的・実践的な活動・態度) ○進め方などでつまずいた時には、近くで助言する。
6. 話し合い <議題> 「 」	☆ 友だちの考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断) ○できるだけ自分たちで決定ができるように見守り、話し合いが行き詰まってしまった時には助言する。
7. 決まったことの確認 8. 振り返り 9. 先生の話 10. おわりの言葉	○計画委員のがんばっていた点、友だちを意識した意見や態度などを見つけて賞賛する。

・計画委員会で児童が作成した計画を載せます。研究授業や低学年の活動においては、教師が作成したものを掲載しても差し支えありません。(この場合でも児童が作成したものの転記という意味合いが濃くなります。) 計画委員の活動に教師が積極的に関わっているかということが大切です。

・評価と支援について、計画委員の活動と学級全員の活動のどちらも記述していきます。
・学年、あるいは学級の実態に応じて表現は異なってきます。

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)

・実践を強く意識させ、みんなと協力して取り組んでいく見通しを記述していきます。

学級活動（2）学級活動の指導案の書き方

第○学年○組 学級活動指導案

指導者 ○○○○

1. 日時・場所 平成○年○月○日（○）○時○分～ ○年○組教室

2. 題 材 名 「○○○○○」

・題材表記にあたっては、各学校で作成している年間指導計画の題材名を参考にしてください。

3. 題材について

・本題材を設定した理由を学級の実態を織り交ぜながら記入します。学級の児童全体に共通する問題であり、解決する必要があることを具体的に入れていきます。また、教師の題材観、指導観（ねらい）についても併せて書きます。

4. 評価規準

活動への関心・意欲，問題の気付き	集団の一員としての思考・判断	自主的・実践的な活動・態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活上の諸問題にかかわって、自己の課題を見出そうとしている。 ・日常の生活や学習に自ら適応しようとするとともに、健康で安全な自己のよりよい生活を目指そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人及び集団の一員として必要とされる資質・能力、健全な生活を送ることの大切さなどについて理解し、自己のめあてを立てるなど、望ましい在り方などについて考え、判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の課題について、設定した具体的なめあてに基づきながら、自主的に解決を図ったり、望ましい行動を実践したりする。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）	資料

・題材に関する児童の実態を把握するための調査や、課題を明確にするための資料作りなどの指導経過をまとめます。学級活動は事前・本時・事後の一連の活動を評価しなければならないので、事前指導にも評価と支援を記述していきます。

・評価については、各学校で作成の評価規準や学習指導評価の資料（H15年教育委員会発行）をもとに記述します。

資料については、次の3つが必要であるとされています。

1. 児童の意識を高めるための資料（事前の活動・導入）
2. ねらいを焦点化するための資料（本時の展開）
3. 実践への意欲づけのための資料（事後の活動・終末）

（2）本時の活動

①ねらい

②展 開

	児童の活動	評価（☆）と支援（○）	資料
導 入			
展 開			
終 末			

・児童の活動は、次のような流れで記述していきます。

1. 問題の把握
2. 問題に対する原因の究明
3. 解決方法の工夫
4. 実践への自己決定
5. 実践への意欲化

評価と支援については、次のことについて記述していきます。

- ・問題の共通化を図る。
- ・集団思考を深める。
- ・問題を解決する方法を導き出す。
- ・一人一人に合った自己決定ができるようにする。
- ・自分のめあてに向かって意欲的に実践できるようにする。

（3）事後の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）	資料

自己決定にもとづいて、個人としての実践が生活へ定着するような手だてを記述します。
また、定期的に実践状況を把握し、実践意欲が継続するような励ましの手だても記述します。
題材によっては、家庭に依頼する内容も記述するようにします。